

地域の達人 紹介します!

高浜市では、生涯学習基本構想のもと、学びをとおした人づくり・地域づくりを進めています。「地域の達人」と称して、地域で活動をしているいろいろなジャンルの達人の活躍する姿をより多くの方に知ってもらい、生涯学習のネットワークを広げていくため、毎月15日号で紹介しています。



☆地域の達人とは…高浜市に在住、在勤、在学している方で、いろいろな特技や専門分野を持った方

「ブラジル料理の達人」^{うめ} 梅野エリカ メグミさん(八幡町在住)

◆「高浜の学校」でブラジル家庭料理の講師をされていましたが、ほかにも講座を開催しているのですか。

吉浜公民館でブラジルの菓子や日本の菓子をつくる講座をやっています。今は、ブラジル人向けの講座が多いですが、5月ぐらいから日本人向けの菓子や料理講座をやりたいと考えています。

近くのスーパーには売っていない食材も一部ありますが、日本にはない味をぜひ試してもらいたいと思います。



▲梅野 エリカ メグミさん

◆ブラジルのお菓子の特徴を教えてください。

ブラジルでは、ココナッツやトウモロコシが多いので、それらを材料として使うことが多いですね。ヨーロッパの菓子だったものが、ブラジルに伝わり、現地にある材料で工夫して作るようになった結果、独自の味わいになっていると思いますよ。

材料が手に入らなくて、あるもので工夫して作るという話では、例えば、いなり寿司があります。ブラジルでは、酢飯ではなく五目御飯を使ったものが一般的なので、日本に来て初めていなり寿司を食べたときは、あまりにシンプルでびっくりしました。また、太巻きは海苔があまり出回っていなかったの、薄い卵焼きで巻いて食べていました。

◆料理講座以外に、ボランティアグループでも活動をしていると聞きましたか

本格的な活動はこれからなのですが、「ブラジルの友」というグループを作って、社会福祉協議会に登録しました。着付けやお茶といった日本の文化をブラジル人に伝えたいという思いと、自分の体験から、防災の大切さ、地震の怖さをブラジル人に伝えたいと思っています。

3年前、東日本大震災の後に小学校で防災訓練がありました。最初は、何のためなのかわからなかったのですが、参加してみても何をすべきなのか学びました。地震に馴染みのない私たちは、どちらかという「何とかなる」と考えがちです。

そして、日本語を知らない外国人だけではなく、日本語を知っている外国人も、いざというときにはどうすればよいかわからないと思います。同じ市民として、ふだんから何をすればよいかを考えていけたらと思います。



▲ブラジル料理教室にて

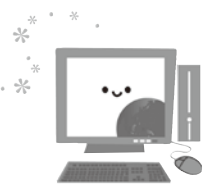


▲わくわくフェスティバルにて

生涯学習の取組み一覧を紹介しています

市では、生涯学習の取組みの一覧を、高浜市のウェブサイトで公開しています。市の事業や市民活動、ボランティア活動などの情報を共有することで、人と人、人と活動をつなぎ、市民活動の活性化を図りたいと考えています。皆さん、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/bunka/>



問合せ先 函文化スポーツグループ ☎52-1111(内線331)